

エステティックサロン市場に関する調査結果 2009

－消費者の信頼を獲得することが需要喚起のポイント－

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にてエステティックサロン市場の調査を実施した。

1. 調査期間：2009年10月～12月
2. 調査対象：エステティックサロン、エステティック関連商材取扱企業
3. 調査方法：当社専門研究員による直接面談、電話によるヒアリング、ならびに郵送アンケート調査併用

【調査結果サマリー】

◆ 2009年度のエステティックサロン市場規模は3,639億8,000万円、前年度比94.2%

2009年度のエステティックサロン市場は、サブプライムローン問題に端を発する世界的な経済不況、特定商取引法や割賦販売法の規制強化などの要因から、3,639億8,000万円（前年度比94.2%）と減少する見込みである。

◆ 日本エステティック機構による各認証制度がスタート

日本エステティック機構による業界の統一的な「エステティックサロン認証制度」、「エステティック機器認証制度」、「エステティシャン試験認証制度」の実施・普及に向けた活動がスタートし、業界の注目を集めている。

◆ 消費者の信頼を獲得することが、需要喚起のポイント

短期的には景気の回復が見込みにくいことや、法規制への対応などから、市場規模は減少するとみる。また、現在のエステティック業界は、消費者からの信頼を得ているとは言い難い。しかしながら、多くの一般消費者がエステティックを体験する機会が増加しており、エステティックに対する潜在ニーズは高まっている。市場の健全な発展へむけた、エステティック業界一丸となった活動を積極的に行い、消費者の信頼を獲得することが、需要喚起のポイントとなる。

◆ 資料体裁

資料名：「エステティックサロンマーケティング総鑑 2010年版」
発刊日：2009年12月29日
体裁：A4判 487頁
定価：110,250円（本体価格105,000円 消費税等5,250円）

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝
設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先（当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>）

㈱矢野経済研究所 営業本部 広報宣伝グループ TEL：03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報宣伝グループ迄お問合せ下さい。

【 調査結果の概要 】

1. 市場概況

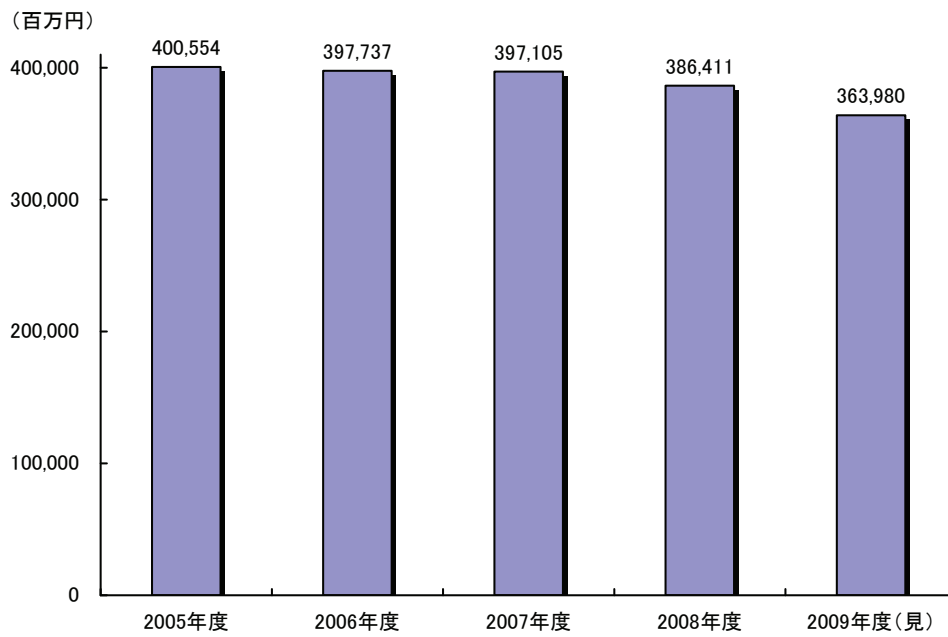
2009年度のエステティックサロン総市場規模は3,639億8000万円、前年度比で94.2%と前年度に引き続き減少推移となる見込みである。サブプライムローン問題に端を発する世界的な経済不況、特定商取引法や割賦販売法の規制強化などの要因から、市場規模は減少している。

2. 注目すべき動向

現在、日本エステティック機構が、エステティック業界における統一的な「エステティックサロン認証制度」、「エステティック機器認証制度」、「エステティシャン試験認証制度」の実施・普及に向けた活動を展開している。「エステティックサロン認証制度」とは、関連法令を遵守し、適正な契約・取引等を行なっていることや、安全なサービスを行なっていることを明確にする制度である。「エステティック機器認証制度」とは、エステティック機器を使用したエステティックサービスの安全性を高めるため、使用機器に関する規格を設定し、その規格に沿った機器であることを証明するための制度である。「エステティシャン試験認証制度」とは、試験制度の内容及び実施機関が、認証基準に適合しているかどうかを機構審査委員会及び判定委員会で慎重に審査・判定し、認証する制度である。これらの認証を得ることでエステティックサロンはかなり安全性の高い営業が可能となる。認証制度を利用するサロンを増加させ、認証制度を機能させることが、今後の健全な業界発展につながると考えられることから、日本エステティック機構による各認証制度の今後の動向に注目が集まっている。

3. 将来予測

短期的には景気の回復が見込みにくいことや、法規制への対応などから、市場規模は縮小するとみる。しかしながら、リラクゼーションサロン、温浴施設、訪問販売化粧品メーカーが展開するサロンにおいてエステティックサービスを提供する施設は増加している。多くの一般消費者がエステティックを体験する機会が増加しており、エステティックに対する潜在ニーズは高まっていると考える。現在のエステティック業界を取り巻く現状は、法改正や不景気などの影響で厳しい状態が続いているが、法律や国家資格が不要なことが、悪質業者の参入やトラブルの発生につながり、エステティック業界の信頼を損なっていることにも事実である。エステティック認証制度などの業界一丸となった活動を積極的に行い、消費者の信頼を獲得することが、需要喚起のポイントとなるとみる。

図表 1. エステティックサロン市場規模推移


矢野経済研究所推計

(単位：百万円、%)

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度(見)
市場規模	400,554	397,737	397,105	386,411	363,980
前年比	—	99.3	99.8	97.3	94.2

矢野経済研究所推計

注 1: 事業者売上金額ベース

注 2: (見)は見込値